

いのち・とき・なかま

豊中五中
学校だより
H28(2016)
5,18 発行

今年度初めての中間テスト

今週20日(金)から今年度はじめての中間テストです。すでに範囲が示され、授業でもしっかり取り組んでいることと思います。1年生にとってはもちろん初めて、2・3年生にとっても今年度最初の定期テストです。わからないところは質問して理解を深めておきましょう。計画を立て、家庭でも復習しておくことが大切です。もちろん、一番大切なのは授業です!!

授業の様子から 今回は英語です。

1年生: ball, cup, pencil, magazine, notebook, watch, , , , , ,
スクリーンに映された物の名前を、大きな声でテンポよく英語で答えていきます。指示も英語で出されていました。英語のシャワー?を浴びて、慣れていきます。



2年生: be going to や will を使って未来形を学習しています。My brother is going to take part in a robot competition, , , , , I will call you later 等 質疑応答をしながら、英文を作っています。

3年生: 現在完了形の学習です I have waited for the bus for one hour, , , , 継続・経験・完了など、用法を確認しています。for や since がヒントですね。



静かな授業、活発に声の出ている授業、雰囲気は色々ですが、皆頑張っています。一方で授業内容に無関係な話等で授業が中断してはいませんか?頑張る気持ちはあっても、なかなか行動がついてこないこともあります。互いに注意しあうことや、友だちや先生に「ここがわからない、難しい」と言える。「困った時に困った」と言える関係づくりが、授業の中でも進めばいいですね。委員会などの呼びかけで、チャイム着席(ベル着)を心がけています。気持ちの準備もして、授業に臨みたいものです。

教える側も、わかりやすい授業づくりのための研究や、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていきたいと思っています。

避難訓練を行いました

10日(火)、避難訓練を行いました。火事を想定し、非常ベルとともに校内放送で避難を指示。雨天のため、体育館への避難となりましたが、全体にスムーズで、目標の約4分半以内に避難・整列・点呼を行うことができました。



全体が集合し、嶋田先生から話がありました。「火事で犠牲になる大きな原因は一酸化炭素中毒で、火事の発生後、8分くらいで致死濃度になってしまう。誰かがいなければ、探しにいかねばならない。時間がかかるほど、次にできる行動が制約される。すみやかに避難、安全確認をすることが大事です」

避難する際は「押さない・校舎内で走らない（かけない）・しゃべらない」【おは（か）し】を心がけること。「いのち・とき・なかま」を大切に、自分の命も仲間の安全も守ること。すべての人が安全に、安心して生活するためにすべき事を、皆で考え、備えていきたいと思います。

今回の訓練は火事を想定しましたが、地震も気になります。九州、熊本の地震は今も続いていて、今なお多くの方が避難生活をされています。地震の終息と、復旧を心からお祈りいたします。現地の学校は避難所となり、多くの学校が休校していましたが、ようやく、ほぼ再開したとのニュースが報じられています。1995年の阪神淡路大震災では、豊中市も大きな被害を受け、南部の学校が避難所になりました。体育館は足の踏み場もないほど一杯になり、自宅が全壊・半壊した生徒も体育館で寝泊りし、朝、体育館から教室に通ってました。今後、大阪でも上町（うえまち）断層などによる直下型地震などがおきた場合、家屋に大きな被害が出るのが予想されています。

日ごろから、防災意識を持ち、様々な備えをしておくことが求められています。（5月14日、克明校区社会福祉協議会の総会では、豊中市の危機管理室の方からお話がありました）五中にも、体育館の倉庫に毛布等、プール横の防災資機材庫に投光機や発電機等が保管されています。家庭・地域・学校それぞれで、いちど点検してみたいはいかがでしょうか。



何より大切な安全確認

学校生活の中で何より大事なものは「安全」です。授業でも休み時間でも、所在がわからなかったり、勝手に行動したり、話がしっかり聞いていなかったりすると、場合によっては大変危険なことになります。日ごろから落ち着いて集団生活ができることを「安全確認」という側面からも意識してほしいと思います。確認ができなければ、授業でやっていることを一時止めることもあります。言うまでもなく、立ち入り禁止の場所に入る・上る事や、危険な行動・行為は絶対しないこと。今後の修学旅行や湖畔学舎も「安全」が最優先であることは当然ですね。

登下校時も同じです。地域の方から「家の前で掃除している時、通りかかった五中生が、元気にあいさつをしてくれて、とてもうれしかった」というお話の一方で、「登下校時に道に生徒が広がって歩き、車や歩行者が通れずに迷惑をかけていた」というお叱りもあります。マナーの問題と同時に、危険をさけるためにもぜひ注意してほしいことです。